

現状と課題及び今後の方針

【健康長寿】

【社会参加】

【いきがい】

現状と課題及び今後の方針

施策	介護予防、健康づくり施策の充実											
事業	①介護予防把握事業											
主な取り組み	高齢者見守り訪問員の配置											
R3達成度	5 4 ③ 2 1											
現状と課題	(1)事業内容 認知症など心身機能の低下した高齢者を早期発見するとともに、孤独感を緩和し安心した生活の継続を支援するため、見守り訪問員を配置し、週1回程度、介護保険サービスを利用していない高齢者世帯等への訪問を実施。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>144</td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	登録者数	144		
	実績値	R3	R4	R5								
	登録者数	144										
	参考:7期											
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>133</td><td>130</td><td>131</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	登録者数	133	130	131	
実績値	H30	R1	R2									
登録者数	133	130	131									
(3)課題												
現在、市内を3地区に分け訪問しており、1地区50名、計150名を当面の目標としている。R3年度は登録者数が増加したが、目標には到達していないため、必要とする世帯が確実に事業を利用できるよう、さらなる周知を図る必要がある。 現在、介護保険サービス利用者は見守り事業の対象外としているが、介護保険サービスのみでは見守りが不十分という理由で、見守り事業の利用(継続含む)を希望するケースが増加している。												
R4に向けた 今後の方針	広報誌掲載、民生委員および地域活動組織等に広く周知を行うほか、他の事業等で把握された見守り支援を要すると思われる高齢者に対し勧奨を行う。 今後は、介護保険サービスの利用者であっても、見守りの必要性があれば見守り事業を利用できるようにしていく。											

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	②介護予防普及啓発事業				
主な取り組み	介護予防教室等の開催				
R3達成度	5	④	3	2	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者が身体機能を維持しながら介護を必要とせずについてまでも元気で暮らしていけるように運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防、閉じこもり防止、うつ予防を目的とした介護予防事業を開催する。				
	(2)実績及び目標値				
	①介護予防教室参加者数(人)				
		R3	R4	R5	
	実績値	1,148			
	目標値	1,960	2,100	2,240	
	参考:7期				
		H30	R1	R2	
	介護予防教室参加者数(人)	2,140	1,811	508	
	②認知症予防教室参加者数(人)				
		R3	R4	R5	
	実績値	503			
	目標値	540	612	684	
	参考:7期				
		H30	R1	R2	
	認知症予防教室参加者数(人)	665	547	294	
現状と課題	③泳がない！水中足腰運動教室参加者数				
		R3	R4	R5	
	実績値	217			
	目標値	360	384	408	
	参考:7期				
		H30	R1	R2	
	泳がない！水中足腰運動教室参加者数	422	377	217	
	④地域づくり型運動教室参加者数				
		R3	R4	R5	
	実績値	527			
	目標値	576	648	720	
	参考:7期				
		H30	R1	R2	
	地域づくり型運動教室参加者数	-	603	582	
	※令和1.2.3年度は新型コロナ感染拡大防止のため参加者の減少がみられた				
R4に向けた今後の方針	(3)課題				
	新型コロナウイルス感染症拡大防止による社会的参加の減少からフレイル状態への進行が懸念されるため、周知を強化し、介護予防の重要性を周知していく必要がある。また介護予防に取り組める環境を整備するとともに特色ある教室の展開、セルフケアの実践に繋がられるような技術と知識の啓発及び意欲の向上につなげていく必要がある。				
	新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、知識や方法を主体的に習得できる体制を整備していく。また介護予防の重要性を再確認し、住民主体の通いの場等への参加から人と人とのつながりを通じて参加者や通いの場が継続的に拡大していくようなつながりを強化していく。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	③地域活動支援事業				
主な取り組み	住民主体の通いの場立ち上げ・継続支援				
R3達成度	5 4 ③ 2 1				
現状と課題	(1)事業内容 高齢者が誰でも一緒に参加することのできる介護予防の地域展開を目指して、住民の主体的運営による通いの場の立ち上げ支援に及び継続的活動の支援を実施する。				
	(2)実績及び目標値 住民主体の通いの場(シューイチ体操倶楽部)総数(箇所)				
		R3	R4	R5	
	実績値	31			
	目標値	40	60	80	
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
		22	28	30	
	(3)課題 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を休止する通いの場があったものの、廃止に至る所はほとんどなかったことから、介護予防の重要性が定着しているものと判断する。また設置目標値には至らないが、高齢者が歩いて行けるような身近な生活範囲への立ち上げが必要であることから、地域包括支援センターと協力しながら立ち上げ支援を実施する必要がある。				
R4に向けた今後の方針	既存の通いの場が継続していけるよう地域リハビリテーション事業等を活用しながら後方支援を行い、地域全体で支え合いながら自立した生活を送ることのできるよう努めていく。また新規立ち上げに向け、各地域包括支援センターと協力しながら高齢者が誰でも一緒に参加することのできる介護予防の地域展開を目指す。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	④地域活動支援事業				
主な取り組み	介護予防推進員への活動支援・住民ボランティアの育成				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者が誰でも一緒に参加することのできる介護予防の地域展開を目指して、介護予防に関するボランティア(介護予防推進員)の人材育成研修、地域活動組織の育成および継続的活動の支援を実施。介護予防に関するボランティアの人材育成のための学習会を開催する。				
	(2)実績及び目標値 介護予防推進員総数(人)				
		R3	R4	R5	
	実績値	7			
	目標値	10	15	20	
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	介護予防推進員総数(人)	8	7	7	
	(3)課題				
	新型コロナウイルス感染症拡大防止等により地域での活動を行うことができず自己啓発に留まった。介護予防に関する知識の啓発のため今後も継続した活動支援を行うとともに、感染状況等を考慮しながら新たな人材の発掘・育成等について検討する必要がある。				
R4に向けた今後の方針	学習会の継続や講師派遣等による技術的支援をもとに地域での活動につなげるとともに、推進員と情報共有・連携し地域における新たな人材の確保について検討する。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	⑤地域リハビリテーション活動支援事業				
主な取り組み	住民主体の通いの場への専門職派遣				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 住民主体の通いの場に対してリハビリテーション専門職を派遣し、高齢者の能力評価・改善可能性の助言等、介護予防の取組に対する技術的指導を実施する。				
	(2)実績及び目標値 通いの場へのリハビリテーション専門職派遣数(回)				
		R3	R4	R5	
	実績値	17			
	目標値	15	20	25	
	参考：7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	通いの場へのリハビリテーション専門職派遣数	14	11	13	
	(3)課題 リハビリテーション専門職の関与により介護予防の取組の機能強化につながっている。ただし、希望団体が固定化しており、全団体に対し同一の技術的支援を実施するのが困難な状況から、事業目的や利点についての理解を図り、介護予防の取組に対する技術的指導を行っていく必要がある。				
R4に向けた 今後の方針	リハビリテーション専門職を派遣を活用し、専門職からの指導や助言を受けることで高齢者の心身機能の改善だけではなく、日常生活における活動の意識を高め、地域や社会への積極的参加を促していく。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実																							
事業	⑥介護予防・日常生活支援総合事業																							
主な取り組み	介護予防・生活支援サービス事業の実施																							
R3達成度	5 4 ③ 2 1																							
現状と課題	(1)事業内容 要支援者等の多様な生活ニーズに対 要支援者等の多様な生活ニーズに対応するため、従前の介護予防訪問介護及び介護予防通所介護サービスに加え、多様な主体による多様な支援を実施する。																							
	(2)実績																							
	<table><tr><th>実績値</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>従前相当訪問型サービス延べ利用者数</td><td>659</td><td></td><td></td></tr><tr><td>従前相当通所型サービス延べ利用者数</td><td>5,345</td><td></td><td></td></tr><tr><td>短期集中訪問型サービス延べ利用者数</td><td>0</td><td></td><td></td></tr><tr><td>短期集中通所型サービス延べ利用者数</td><td>22</td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	従前相当訪問型サービス延べ利用者数	659			従前相当通所型サービス延べ利用者数	5,345			短期集中訪問型サービス延べ利用者数	0			短期集中通所型サービス延べ利用者数	22		
	実績値	R3	R4	R5																				
	従前相当訪問型サービス延べ利用者数	659																						
従前相当通所型サービス延べ利用者数	5,345																							
短期集中訪問型サービス延べ利用者数	0																							
短期集中通所型サービス延べ利用者数	22																							
参考：7期																								
<table><tr><th>実績値</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th></tr><tr><td>従前相当訪問型サービス延べ利用者数</td><td>504</td><td>558</td><td>515</td></tr><tr><td>従前相当通所型サービス延べ利用者数</td><td>5,022</td><td>5,130</td><td>4,603</td></tr><tr><td>短期集中訪問型サービス延べ利用者数</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr><tr><td>短期集中通所型サービス延べ利用者数</td><td>145</td><td>68</td><td>17</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	従前相当訪問型サービス延べ利用者数	504	558	515	従前相当通所型サービス延べ利用者数	5,022	5,130	4,603	短期集中訪問型サービス延べ利用者数	0	0	2	短期集中通所型サービス延べ利用者数	145	68	17	
実績値	H30	R1	R2																					
従前相当訪問型サービス延べ利用者数	504	558	515																					
従前相当通所型サービス延べ利用者数	5,022	5,130	4,603																					
短期集中訪問型サービス延べ利用者数	0	0	2																					
短期集中通所型サービス延べ利用者数	145	68	17																					
R4に向けた 今後の方針	(3)課題 介護予防・生活支援サービス事業は要介護状態となることの予防・状態軽減・悪化防止のため、多様な主体による多様な支援を実施するものであるが、従前の通所介護、訪問介護の利用が多く、高齢者自身が健康増進や介護予防に向けた取組を主体的に行うまでに至っていない。軽度な支援を要する高齢者が、サービスに依存せず生活できるよう、自立支援に資する取組を推進する必要がある。																							
	介護予防・生活支援サービス事業の利用にあたっては、早期のリハビリテーション専門職の介入による状態の改善とセルフケアの定着を図るため、基本チェックリストに該当した高齢者について、短期集中型サービスからの利用を基本とするよう改めた。今後、高齢者自身の「したい、できるようになりたい」を実現できるよう、自己決定・自己実現を可能とする支援体制の構築を図る。																							

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	⑦高齢者いきいきデイサービス事業				
主な取り組み	高齢者いきいきデイサービスの実施				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 概ね65歳以上で、介護保険法の要介護認定において認定なし又は非該当の高齢者を対象として、安定した在宅生活を維持できるよう、フレイル予防及び社会的孤立感を解消することを目的に、身体機能の向上、日常生活における生活機能の維持・向上並びに社会的交流の機会を提供する。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	参加延人数	3,646			
	参考：7期				
	実績値	H30	R1	R2	
参加延人数	8,346	4,534	892		
課題	(3)課題 事業目的に挙げているフレイル予防について、担当者による栄養指導は行っているが、栄養士等の専門職からの指導を受ける機会がない。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、調理実習ができなかったため、いきいきデイサービスの活動内で、指導を受けた内容を実践する機会がない。				
	R4に向けた今後の方針 これまでの活動内容に加え、健康課と連携し、栄養士による栄養教室を開催する。また、栄養について講義形式で学ぶだけでなく、調理実習を行い、参加者が学んだことを活かしながら、実際に料理をつくる機会も設けていく。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	⑧老人クラブ活動推進事業				
主な取り組み	老人クラブ活動支援業務				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者の生きがいを高めるため、老人クラブ活動指導員1名を配置し、クラブ活動の充実と高齢者福祉の増進を図る。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	老人クラブ会員数	646			
	参考：7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	老人クラブ会員数	1,272	1,213	1,075	
	(3)課題 年々加入者が減少傾向にあり、単位老人クラブ数も減少しているため、老人クラブの活性化に向けた取り組みを行い、加入者増につなげていく。				
R4に向けた 今後の方針	会員数は、目標値(H29会員数：2100人)の約30%となったが、会員の教養の向上や健康の保持・増進及び地域への社会参加等を図ることができることから、今後も事業を継続する。 高齢化率が増加するなかにあって、閉じこもり予防も含め介護予防にも寄与していることから、地域における支え手となるよう意識改革を図る。 会員数の増加に向けて、事業の活性化を図る。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	⑨老人体育レクリエーション大会事業				
主な取り組み					
R3達成度	5	4	3	2	1 ※未実施のため、評価なし
現状と課題	(1)事業内容 スポーツを通じて、健康の保持と相互の親睦を図り、老後の生活を豊かなものとするために、昭和50年から市と社会福祉協議会及び老人クラブ連合会が主催となり、年1回開催している。				
	(2)実績				
	実績値		R3	R4	R5
	参加人数		新型コロナウイルス予防のため中止		
	参考：7期				
	実績値		H30	R1	R2
	参加人数		500	500	新型コロナウイルス予防のため中止
	(3)課題 参加者は横ばい傾向であるが、単位老人クラブや会員数の減少が見られる。老人クラブ自体の活性化に向けた取り組みを行い、参加者増につなげていく。				
R4に向けた 今後の方針	スポーツを通じて高齢者の健康の保持・増進が図られていること、また老人クラブ相互の交流が図られていること等、事業の効果も大きく、本事業は継続していく。参加者が増え、活動が活性化することを目指し、参加しやすい競技内容の検討を行う等の工夫を図る。				

施策	認知症施策の推進				
事業	①認知症サポーター等養成事業				
主な取り組み	チームオレンジ構築				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、認知症の人やその家族を見守り支援する認知症サポーター及びサポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトを養成する。				
	(2)実績及び目標値 認知症サポーター総数(人)				
		R3	R4	R5	
	実績値	8,085			
	目標値	8,500	9,000	9,500	
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
		6,837	7,484	7,818	
R4に向けた今後の方針	(3)課題 認知症サポーターの養成数は県内でも上位にあるが、サポーターによる地域活動にまで発展していない。講師役のキャラバン・メイトにおいても、自らサポーター養成講座を企画・開催した人が少数にとどまっていることから、認知症の正しい知識の普及啓発を図るため、全市的な講座開催を検討する必要がある。				
	全コミュニティセンターでの講座を開催、全市的なサポーター養成に取り組む。サポーター及びキャラバン・メイトへのフォローアップを実施し、認知症の人に優しいまちづくりの役割を担うボランティア、地域のリーダーとして活躍できる人材育成、環境整備を図る。				

※チームオレンジ

地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと認知症サポーターを結びつけるためにチームを組んで取り組むこと。チーム員は、本人・家族を含む地域サポーターと多職種の地域サポーター。主な活動内容は、外出支援、見守り、声かけ、話し相手、認知症の人の居宅へ出向く出前支援等。

施策	認知症施策の推進				
事業	②認知症初期集中支援推進事業				
主な取り組み	認知症初期集中支援チームの配置				
R3達成度	(5) 4 3 2 1				
現状と課題	(1)事業内容 認知症が疑われる人等に対し、適切な医療・介護サービスにつなげていくための医師をはじめとした専門職による支援チームを米沢こころの病院に設置し、地域包括支援センターからの相談対応や助言・指導のほか個別事例対応等、必要な支援を実施する。				
	(2)実績				
	実績値		R3	R4	R5
	支援件数		3		
	参考：7期				
	実績値		H30	R1	R2
支援件数		1	1	2	
(3)課題 既に医療・介護サービスを利用しているためか、専門職支援チームの介入を必要とするような、いわゆる多問題を抱える認知症等の人に関する相談が少ない。早期の適切な介入・支援を実施するため、地域包括支援センターやケアマネジャー等を含めた相談体制の充実、医療機関の円滑な連携を推進する必要がある。					
R4に向けた今後の方針	チーム医をはじめ支援チームとの協議のもと、ケアマネジャーや医療機関等に対する事業の周知方法について検討する。その他、地域の関係者・機関等とも連携し、医療・介護サービスを必要とする人への支援を実施するなかで、専門職支援チームの介入を必要とする人を把握した場合には、迅速に介入できるよう支援チームとの連携を図る。				

施策	認知症施策の推進				
事業	③認知症地域支援・ケア向上事業				
主な取り組み	認知症地域支援推進員の配置				
R3達成度	(5) 4 3 2 1				
現状と課題	(1)事業内容 認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるよう関係者の連携支援や、地域の実情に応じた地域支援体制の構築を行う推進員を地域包括支援センターに配置し、必要な支援を実施する。				
	(2)実績				
	①認知症カフェ総数(箇所)				
		R3	R4	R5	
	実績値	6			
	目標値	8	10	12	
	参考:7期				
		H30	R1	R2	
		5	6	6	
	(3)課題 令和3年度より、認知症地域支援推進員の主催による認知症カフェ(おらだのカフェ)を開催。民生委員や介護予防推進員等の参加もあったことから、今後は運営に関しての協力を得ることも期待できる。コロナ禍により開催休止の認知症カフェもあることから、今後は担い手となる人材の確保と育成、継続的な開催に向けた協働、支援が必要である。				
R4に向けた今後の方針	認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加できる集い場として、認知症カフェの周知、情報発信を行う。既存の認知症カフェの運営支援とともに、認知症地域支援推進員の主催による「おらだのカフェ」を開催し、運営に携わる市民ボランティアの育成を図る。				

施策	在宅医療・介護連携体制の充実				
事業	①在宅医療・介護連携推進事業(在宅医療・介護連携推進センターの設置)				
主な取り組み	①在宅医療・介護連携推進事業(在宅医療・介護連携推進センターの設置)				
R3達成度	5	4	3	2	1
現状と課題	(1)事業内容 米沢市立病院に設置した在宅医療・介護連携支援センターを中心として在宅医療・介護連携に関する相談への対応、医療・介護関係者の情報共有支援、会議や研修会を開催し、切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制を構築する。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	在宅医療・介護連携に関する相談支援数	20			
	(内訳) ケアマネジャー	2			
	市民(本人・家族)	5			
	包括支援センター	3			
	医療機関等	10			
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
在宅医療・介護連携に関する相談支援数	19	23	24		
(内訳) ケアマネジャー	10	11	3		
市民(本人・家族)	5	11	6		
包括支援センター	2	1	5		
医療機関等	2	0	10		
R4に向けた今後の方針	(3)課題 在宅医療・介護連携に関する相談支援、医療・介護関係者の情報共有支援、会議や研修会の開催等の取組みは広がりつつあるが、在宅医療・介護連携の現状把握し、地域の課題の抽出、対応策を検討していく必要がある。				
	在宅医療・介護連携に関する相談支援、医療・介護関係者の情報共有支援、会議や研修会の開催等の取組を継続しつつ、医師会や介護支援専門員連絡協議会等の協力のもと、医療と介護連携の現状把握と地域課題の抽出に努め、対応策を検討する。				